

# 地域情報紙

# ゆふ



7月20日(土)・21日(日)、荏原第五地区区民まつりが行われました。  
青稜高校戸越校舎(旧荏原第四中学校)が初めて会場となり、延べ5,600人が来場。  
大盛況のうちに幕を閉じました。



上田健次実行委員長による挨拶



司会を務めた豊葉の杜学園生徒とうまたせくん

## 子どもステージ

ステージでは、管内の学校や児童センターの子ども達が日頃の練習の成果を発表。  
今年は大崎高校和太鼓部が初参加し、その力強さで会場を盛り上げてくれました。  
地域の子供達による元気な演技・演奏に、大勢のお客さんから拍手が贈られました。



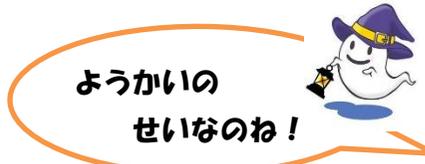
初参加の大崎高校和太鼓部



主催：品川区民まつり荏原第五地区大会実行委員会

## 盆踊り・ようかい体操第一

1日目は新たな試みとして、ゆたか児童センターの子ども達による生バンドと、和太鼓クラブが異色のコラボレーション。和とエレキの音色で品川音頭が奏でられ、やぐらの上では豊葉の杜学園の子ども達が踊りました。



続いてやぐらの上は、豊葉の杜学園5組と南ゆたか児童センターのお友達。子ども達に大人気のアニメ「妖怪ウォッチ」から『ようかい体操第一』を元気いっぱい踊りました。やぐらの下の小さな子どもたちも大はしゃぎです。

2日目は盆踊り。1日目の盆踊りが悪天候により中止になったため、そろいの浴衣の踊り手さん、大人を真似して踊る子どもたちなど、2日分の思いを込めて踊っていました。

## 模擬店

場には、地区委員会や町会・商店会の模擬店が所狭しと並び、大人も子どもも舌鼓を打ちました。  
焼きそばやクレープなどのお店には、豊葉の杜学園地域活動部と大崎高等学校生徒会の子供達がボランティアとして参加。暑い中、鉄板で焼きそばを炒めたり、「おいしい水餃子いかがですか」と元気な声で呼び込みをするなど、大人顔負けの働きを見せてくれました。

